



せっかく  
出来あがってる  
メンツを壊す？

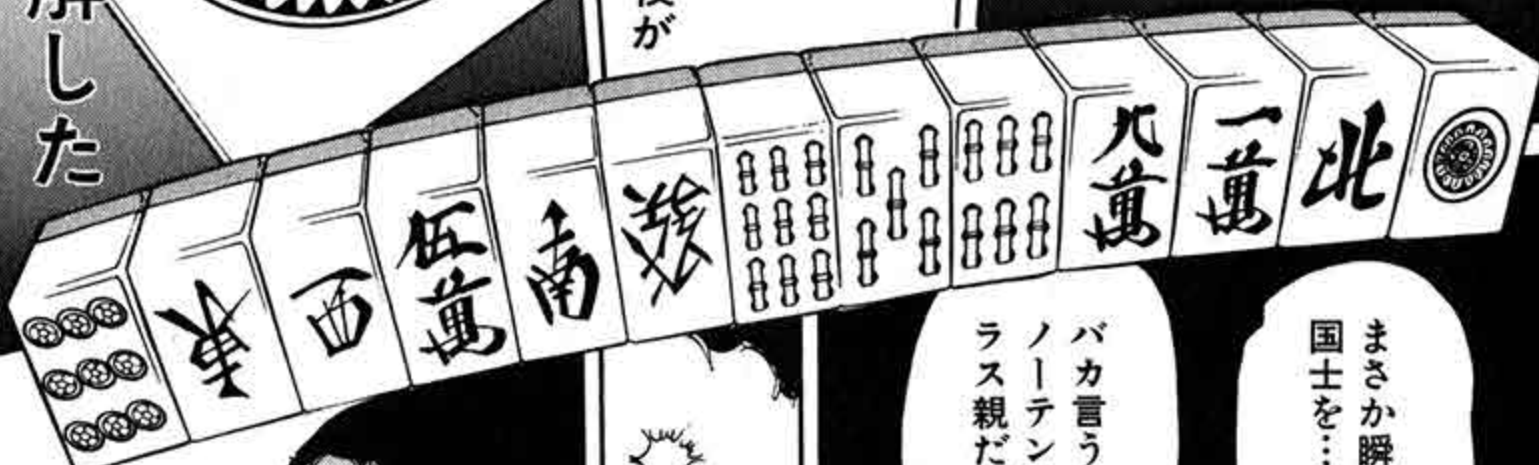


氷

だが6巡目からの  
3連続端牌引きで

にわかには瞬の  
目指してる手役が

氷解した



まさか瞬さんは  
国士を……

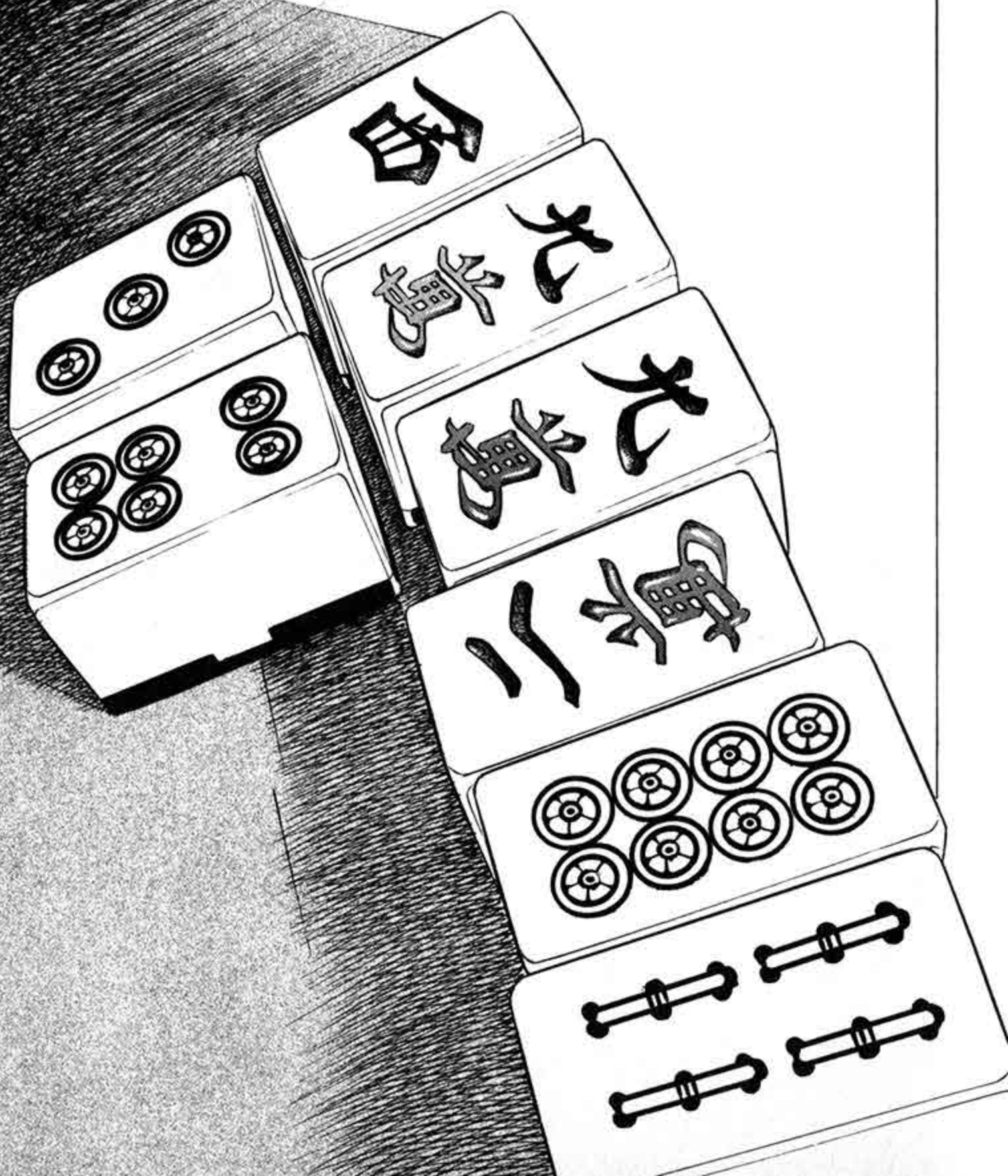
バカ言うな  
ノーテン終了の  
ラス親だぜ

しかも  
あの序盤の捨て牌  
どう見たって国士には……

国士には見えない……

[第6話]

# 命がけの捨て牌



瞬は開き直った  
わけじゃない

トップとは  
43000の開き…  
アツアツの  
連荘したって  
1本場の保証は  
なにもない

だからって  
いきなりの  
大物手に…

それに  
国士と決めたら  
ストレートに中張牌  
から落とせば…

態勢の差を  
喋ってやったじゃ  
ねえか

ハデな切りやって  
万が一 国士  
テンパったとこで  
4枚目を  
止められたら  
それまで

奴は命がけで  
臭いを消す  
布石を作ってる

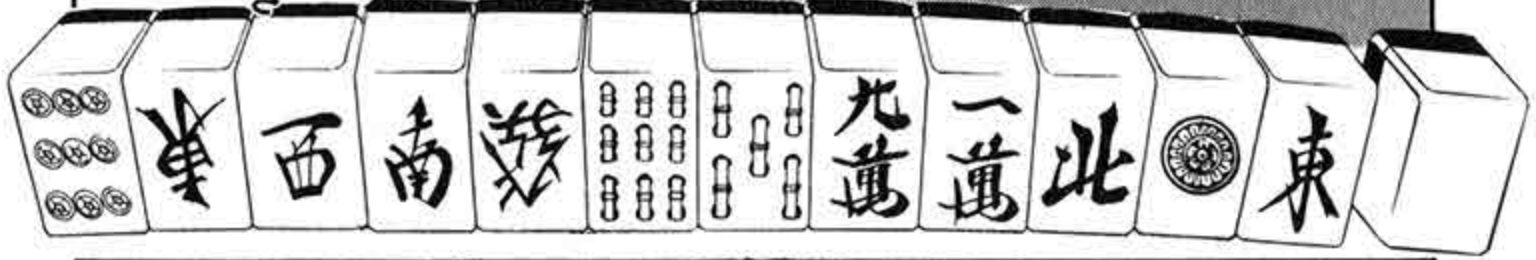


9巡目  
瞬は重なった  
雀頭の光をツモ切り  
次巡の東ツモで  
牌を離れた



3巡無駄ツモ  
が続き

14巡目に□を引き  
イーシャンテンと  
なった



やべ  
中も中も  
3枚ずつ場に  
顔を見せち  
まいやがった



4枚目が  
切られたところで  
全てが終わり…



頼む  
もう少し眠って  
いてくれ

戦っているのは  
もはや瞬だけでは  
なかった

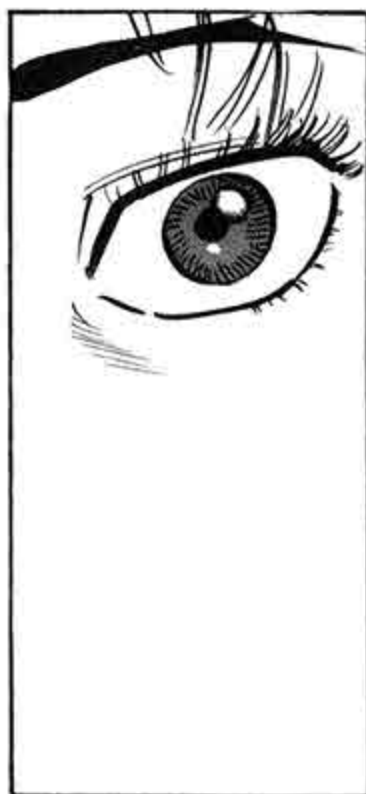
黒沢が  
隆が  
よっちゃんに正也も







共に戦っていた



なんなの  
あの熱気



まるで  
リングの上の  
ボクサーみたい……

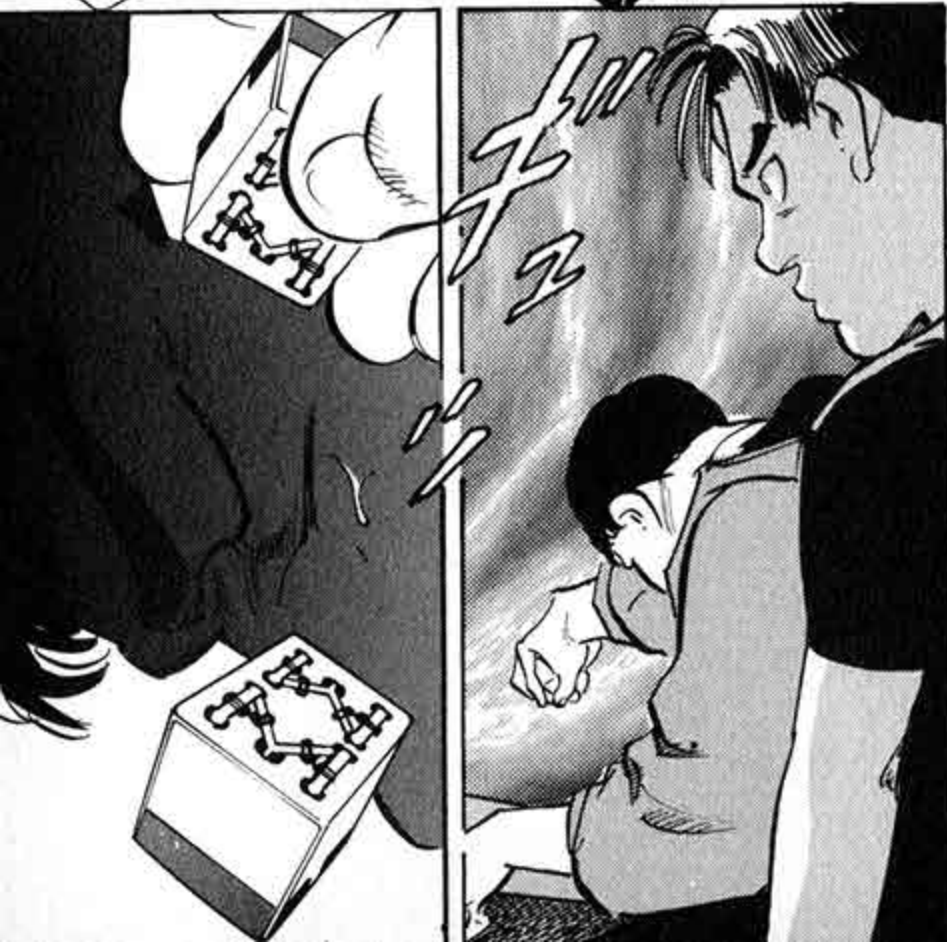


ここまで勝負が  
長引いてるってことは  
神が味方している  
証拠だよ

よっちゃんの言葉  
にも一理あった



一番態勢の  
良かったトップ目の  
学生は  
瞬間の連荘を恐れて  
早々と牌をとめ



半荘を振りに  
徹した2人も

軽いテンパイを  
入れる力は  
残ってはいなかった

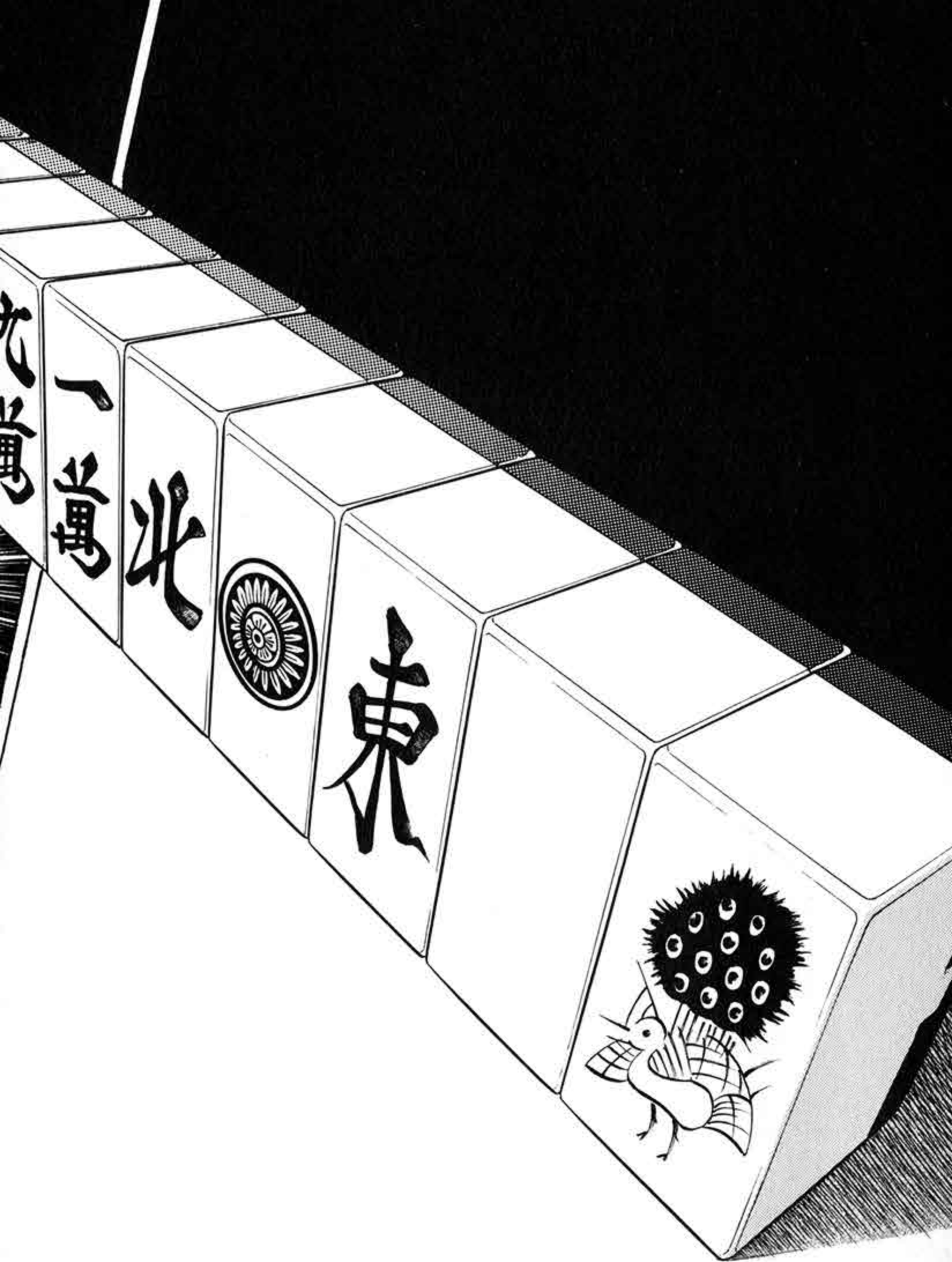


あと3巡  
しかない



牌が俺を  
見放すわけ  
ないんだ







7種9牌から  
国士を……  
テンパった!!

俺のように  
手なりに進めてたら  
チートイツさえ  
テンパってない  
じゃないか

瞬は  
唯一のアガリ形を  
選択したってことかよ





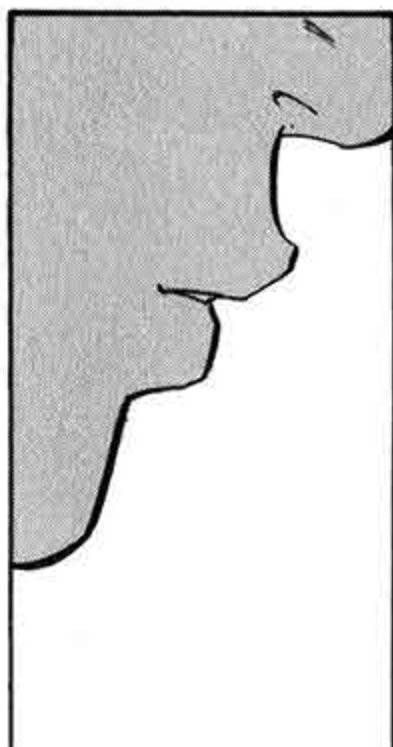
あと3巡…  
40万ゲットだな



いや…  
あの力の入れようは  
まだテンパってない  
可能性大……



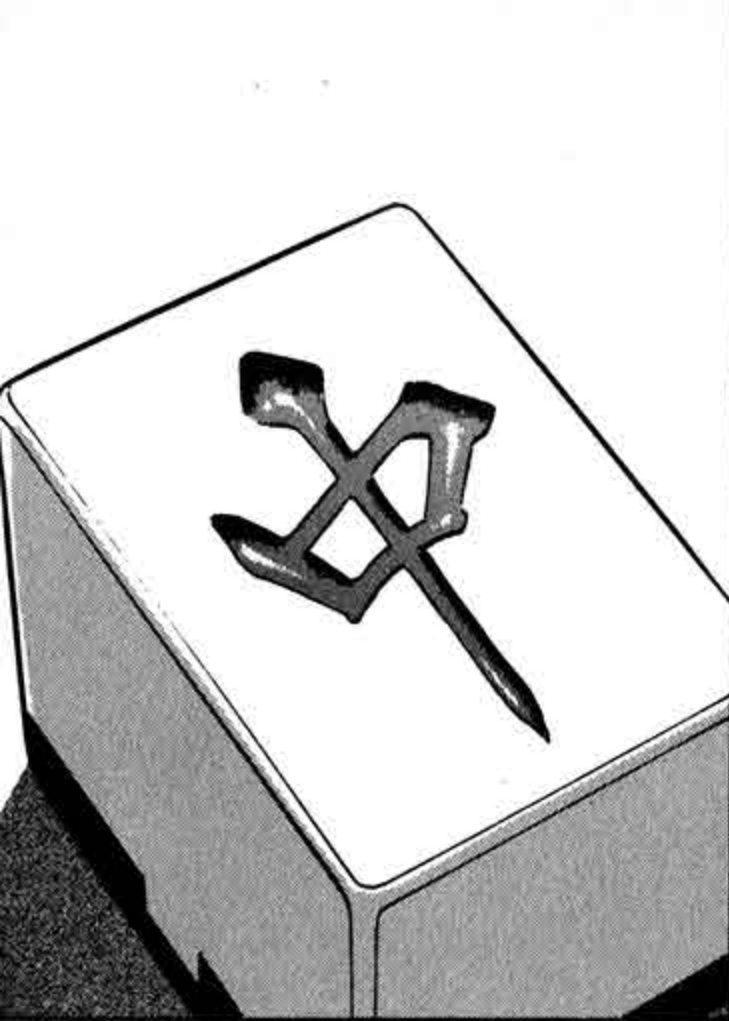
なにやら妙な  
胸さわぎ……



これは大丈夫











一本場  
やってみるか？



なんだよ  
お前らなら  
この捨て牌で  
中が止まるって  
いうのか！





やったよ!  
やった!!



カスカスの  
麻雀でしたね



黒沢さん  
いつから...



命がけの捨て牌







テンパイへの  
最短距離は  
余剰形を作らない  
って事だ



東3局  
お前はマンズと  
ピンズで  
悩んでいた

状況にもよるが  
基本を問われれば  
切りが正着



そうか…



りっぱなタンヤオへの  
振り替わりが  
あるじゃないか




でも  を  
引いてきたら？




これから週に2日  
徹底的に麻雀の  
基本を教えて  
やるよ

それに  
俺のテリトリーから  
ピンの店2・3軒  
紹介すっからさ



瞬は心底  
この繋がりを  
大切にしようと思った

そして黒沢も  
「天才の出現なんて  
こんなところから  
始まるのかもしれない」  
と思っていた



泣かせる麻雀が  
打てる奴なんて  
滅多にいやしねえ  
もんな





第7話

天三荘

一萬

五萬

六萬

七萬

八萬

九萬